



墨東の学び

令和7年7月18日発行
都立墨東特別支援学校
校長 西岡 陽子

1学期終業式を行いました

本日で1学期の学習が終了しました。終業式では各学年の代表者に「通知表」を校長から手渡しました。終業式は校内で学ぶ児童・生徒が一堂に会してお互いの「頑張り」を認め合い、称賛して学校の一体感を共有する「学びの場」です。

学年の代表として通知表を授与される児童・生徒にとっては「皆の前に立つ誇らしさ」、「皆に祝福される嬉しさ」等を得られる貴重な場です。「称賛」は「次への挑戦へのエネルギー」となります。12年間の在学期間の中で、どの児童・生徒も皆の前で讃えられる機会をもてるように、良いところを見出し・伸ばすことに力を注いでいきます。

通知表から1学期を振り返る

手渡された通知表はぜひ、お子様と保護者と一緒に御覧になり、1学期を振り返ってみてください。1学期に「頑張った!」、「やり遂げた!」という充実感や達成感が伝わってきます。学習面では「〇〇が分かった!」という自信が、2学期につながる今後への一層の意欲となっていきます。

学習と併せて1学期の行事なども振り返ってください。新1年生は「入学式」がありました。小学部1年生は、学校という新しい環境で何もかもが新鮮に感じたことでしょう。いつも優しく、時には厳しく接する先生をはじめ、一緒に活動する友達とは仲良くなりましたか?看護師や経営企画室、給食調理員、バス乗務員など様々な人と関わることが、学校の良さです。中学部、高等部1年生は学部が進行して学習内容が大きく変わり、より一層深い学びにつながります。

小学6年生と中学3年生は宿泊行事を実施しました。自宅と違った環境でも、健康を崩すことなく、活動を楽しめることをねらいとして計画しています。12年間の学校生活の後、自分なりの社会参加に必要な力を養うための活動でもあります。学校外の多くの「社会」に触れ、児童・生徒一人一人が課題を達成できたことでしょう。日頃より体調を整えて宿泊行事への参加に協力いただいたこと、併せて付き添いをお願いしました保護者様には感謝申し上げます。

通知表の見方と生かし方

通知表は、学びの主役である児童・生徒に対し、学期中に学び得た内容やその努力と成果が伝わるよう担任が工夫して作成しています。S部門、B部門共通の仕様です。

◆準ずる教育課程で学ぶ児童・生徒には、各教科の観点別学習状況の評価に基づく評定を行っています。

◆知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程及び自立活動を主とする教育課程で学ぶ児童・生徒には、①最も伸長した教科等から一つ、②次に伸長した教科等又は今学期の重点教科等から一つ、③その次に伸長した教科等又は、日常生活面や給食・摂食面、校外学習や移動教室・修学旅行も含めた特別活動等から1つ、の計3つの学びの場面を取り上げています。「児童・生徒本人向けの分かりやすいコメント」とともに、よくできたことを褒めるマークと実際の様子の写真等で、振り返りがしやすいような通知表としています。

夏季休業が始まります

7月21日から8月31日まで夏季休業となります。夏季休業中の8月2日から8月17日までの16日間は、教職員に対する「休暇取得奨励期間」としています。教職員が休養を取ると同時に、休暇中に得たことが新学期の授業等に生かせるような「新たな学び」の期間でもあります。

8月8日から8月15日までは「学校閉庁日」です。この期間に緊急時など学校に連絡する必要がある場合は、副校長の公用携帯電話に御連絡ください。

夏季休業中にボッチャ CIAO カップと全国ボッチャ選抜甲子園の2大会が予定されております。この2つの大会に墨東旋風キッズも参加します。活躍を期待しています。

ミュージック・シェアリング訪問プログラムを実施しました

6月17日にS小学部・かもめ分教室を対象に、認定NPO法人ミュージック・シェアリングによる「訪問プログラム」を実施しました。ヴァイオリニストの五嶋みどりさんと若手演奏家3名(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)のカルテットによる演奏を、小学部①～③学習グループの児童は各教室で、小学部④～⑧学習グループの児童とかもめ分教室の児童・生徒は体育館で聴くことができました。

児童・生徒の目の前で弦楽器の演奏をしてもらい、楽器の样目に注目したり、音に聴き入ったり、初めて聴く音に驚いたり、児童・生徒それぞれがコンサートを楽しむことができました。ミュージック・シェアリングの皆様ありがとうございました。

